

事業名称	
事業名	道路改築事業
整理番号	24-7
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備
市町村名	白馬村
箇所名	主要地方道白馬美麻線 大左右
事業年度	平成22年度～平成30年度
事業概要	
目的	交通事故が多発する当該区間において道路改良を実施し、地域住民の安全な道路交通を確保したい。
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長L=1,100m 道路幅員W=11.0m 車道幅員W=6.5m
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律の急傾斜地崩壊危険区域
その他	なし
環境要素	
環境配慮の方針	
大気環境	交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。
水環境	沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。 水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。 工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 水田や地下水・湧水を保全する。 地下水を使用しない又は使用量を削減する。 山間部においては流域界の変更や沢の埋立を避ける。
地形・地質	地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。 法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。
野生動植物	自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。 重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。 表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。
景観	主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。 工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。
日照障害	日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	廃棄物・建設残土	環境配慮の方針として「建設廃棄物や建設残土のリサイクル」を追記してください。	「建設廃棄物や建設残土のリサイクル」を追記しました。
2	水環境	当該事業は一級河川谷地川に隣接した工事となるため、「留意すべき地域の概況」は「河川・湖沼がある」から「河川・湖沼に隣接する」に修正し、「想定される影響又は環境配慮の方針」に「水質汚濁の防止」を加えてください。	「河川・湖沼がある」から「河川・湖沼に隣接する」に修正し、「想定される影響又は環境配慮の方針」に「水質汚濁の防止」を加えました。
3	野生動植物 (鳥類)	白馬村では絶滅危惧種のクマタカが確認されているので、調査や地元・関係者への聞き取りなどにより希少猛禽類の生息状況を把握し、同種の生息や繁殖に影響が出ないような配慮をしてください。	クマタカについては、環境調査を実施し、同種の生息や繁殖に影響が出ないことを確認のうえで工事に着手します。
4	野生動植物 (魚類)	白馬村には準絶滅危惧種のイワナと絶滅危惧種のスナヤツメの生息が確認されているので、留意してください。	工事で発生する泥などが河川に流れ込まないように注意します。
5	野生動植物 (植物)	白馬村では絶滅危惧種のピッチェウフウロが確認されているので、生育状況を確認の上、生育に悪影響のないよう配慮してください。	ピッチェウフウロについては、本工事着手前に確認作業を行いません。また、確認された場合は、生育の影響について十分配慮します。